

東北大学「機関リポジトリ」シンポジウム

[12/15/2006 (Fri.) 13:30～15:30 於：東北大学片平さくらホール]

機関リポジトリの役割 —人文系・社会科学系分野の場合—

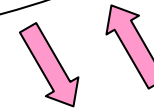
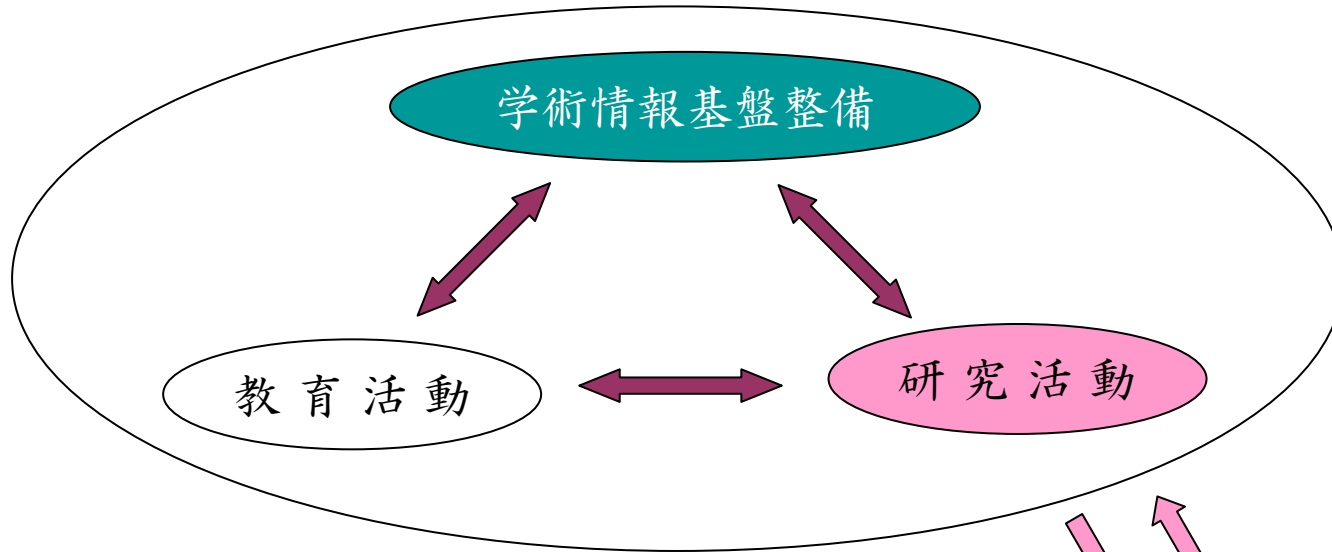
東北大学教育学研究科教授
(教育社会学分野)

秋 永 雄 一

大学の役割

- 1 教育活動（人材養成）：教育機関としての大学
- 2 研究活動（知的生産）：学術研究機関としての大学
- 3 学術情報基盤整備：学術資源の蓄積・提供機関としての大学

学術情報の送受信（機関単位）
[機関リポジトリの役割]



学術情報の送受信（個人・個別組織単位）

学術情報基盤整備の重要性

- ・ 教育・研究のための補助的機能ではない
- ・ 教育・研究と並ぶ大学の基幹的機能の一つ

機関リポジトリ(東北大学リポジトリ) の役割

「東北大学リポジトリ」とは？

東北大学のアカデミック・コミュニティに所属しているメンバーによる知的生産活動の成果を，東北大学の名の下でインター・ネット上に流通・公表するシステム。

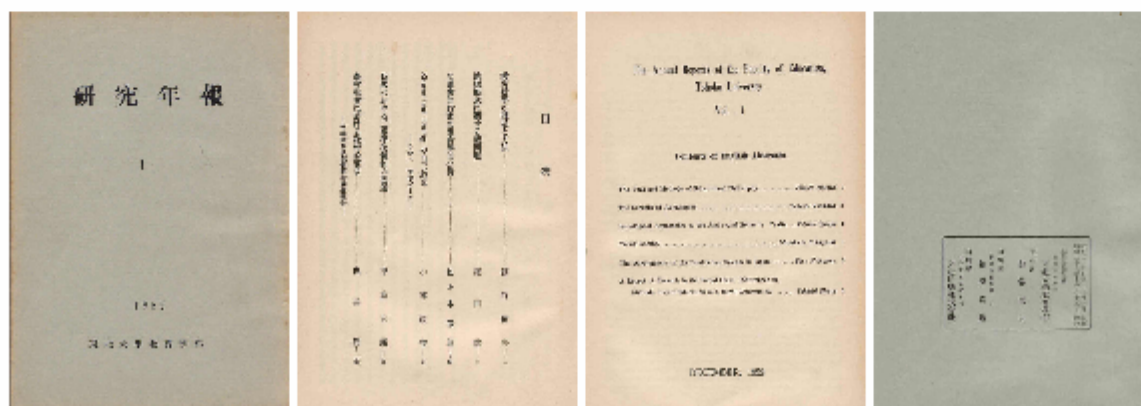
東北大学リポジトリへの期待

1. 学内で生産される情報・知識の「がらくた」の寄せ集めにしないこと（＝質の維持）
2. 利用勝手がよいこと（＝影響力の範囲と高さ）
3. 載せたいものを載せやすいこと（＝鮮度を保つ）
4. 管理責任の所在が明確であること（＝品質保証）

人文系・社会科学系分野の特徴

自然科学系分野に較べれば、「速報性」よりも過去の成果を繰り返し活かす必要度が高い。

→「アーカイブ」としての運用・整備が重要



創刊号(1952年12月刊) 表紙・目次(和文・欧文)・奥付

『研究年報』全文電子アーカイブについて

概要：本アーカイブは、東北大学 大学院教育学研究科/教育学部が蓄積した研究成果と知的資源の有効活用を図るため、その利用環境を整備する作業の一環として、本研究科/学部の『研究年報』（1952年12月創刊）に収録されている全論文の本文（フルテキスト）を電子化し、広く研究・教育・学習の利用に供するために作成されたものです。下記「**利用上の注意**」に同意の上、ご利用ください。

掲載規則：本アーカイブには、著作権者から掲載の許諾が得られた論文のフルテキストが掲載されています。未掲載論文のフルテキストは、著作権者から許諾が得られ次第、順次掲載します。

第3集(1954年10月刊)

論文題目	執筆者
宗教改革の教育的意義 ールターの教会とカルヴァンの教会ー	小林 政吉
教育内容の排列決定に関する問題	對村 恵祐
ロバート・オウエンの教育思想	佐田 玄治
「伝達における自由」の測定	佐藤 昭一

[ページのトップへ](#)

第2集(1953年12月刊)

論文題目	執筆者
農村家族の動態 ー分家慣行を中心としてー	竹内 利美
青年心理学に関する覚書 ー研究法に関する1章ー	宮川 知彰
ろう盲(二重障害)児	堀江 貞尚
勤労青年の教育制度をめぐる問題: 中等教育再編成への一考察	皇 晃之
青年期の異性への関心 ー中学校の共学と別学による差についてー	中島 力

[ページのトップへ](#)

第1集(1952年12月刊)

論文題目	執筆者
教育哲学の課題と方法	細谷 恒夫
適応概念に関する諸問題	塚田 毅
反社会的行動の社会学的分析	佐々木 徹郎
Sturm und Drang の自己超克 ーその2 青年ゲーテー	小林 政吉

教育面での活用

- ・ 必要な教材・資料入手の便宜向上への活用

日本における教科書や資料等の出版環境を考慮すれば、機関レポジトリの果たし得る余地は大きい

- ・ 自宅からの利用が可能なシステムの構築が必要

学内限定のアクセスでは活用できない

組織の制度分析

Institutional Analysis of Organizations

Course listing: 東北大学教育学研究科「教育社会学特論 I」（「社会階層と不平等」研究教育拠点 [CSSI, 21世紀COEプログラム] の関連科目および国際高等研究教育院の開設科目を兼ねる），2006（平成18）年度 夏学期（2単位）

Class Time / Location: Thursdays 1:00-2:30pm / 文科系総合研究棟9F, Room 906

Instructor: 秋永雄一 (Yuichi Akinaga) gcl-akinaga@sed.tohoku.ac.jp

Office hours: Tuesdays 1:00-3:00 p.m. or by appointment by e-mail, 文科系総合研究棟9F, Room 913

AIMS OF THE SEMINAR:

・教育組織の分析への適用を念頭に置きながら、「新制度学派」の組織論・制度論の理論及び経験的研究をインテンシブに検討する。

COURSE ASSIGNMENTS:

あらかじめ指示された必読文献の論点を整理して授業に臨むこと。

COURSE REQUIREMENTS:

- ・討論への積極的参加
- ・2/3以上の出席（単位取得の基礎要件）
- ・タームペーパーの提出（東北大学国際高等研究教育院「言語・人間・社会システム領域基盤」指定授業科目としての履修希望者）[テーマの提出期限は別途指示する]。

COURSE READINGS:

・2005/2006 Academic Yearの全米大学のPh.D 論文は以下のサイトから検索・注文することができる。
<http://wwwlib.umi.com/dissertations/gateway?return=http%3A%2F%2Fwwwlib.umi.com%2Fdissertations%2Fsearch> (1 copy=\$30)

・アメリカの主要な社会調査データはICPSR-Directから無料で入手できる (個票単位 of データ・ペー

ス. 学内LANからアクセスすれば収録されているすべてのデータの入手が可能. 学外からアクセスする場合は一部分のデータのみ利用可. 利用時にアカウントを登録する必要がある). 「社会階層と不平等」研究教育拠点(CSSI)のサイト [<http://www.sal.tohoku.ac.jp/coe/index.html>] または附属図書館のサイト [<http://www.library.tohoku.ac.jp/search/link/dbs-thk.html>] からアクセスできる. 利用規則に厳密に従って積極的に活用されたい.

COURSE SCHEDULE:

0. オリエンテーション

第1回 (April 13)

- Discussion of aims of the seminar
- Assignments
- Requirements

1. 制度とはなにか? : 「制度分析」というアプローチ

第2回 (April 20)

課 題

- ・ 著作権と公表の容易性・迅速化のかねあい
- ・ システムの構築（図書館だけの責務ではない）